

連携協働通信「架け橋」

令和4年3月17日

横浜市教育委員会 学校支援・地域連携課 発行 NO. 24

各学校や地域における地域学校協働活動の推進を目的に、地域と学校の連携・協働に関する情報を発信する連携協働通信「架け橋」を発行しています。当課のWebサイトでもご覧いただけます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/chiiikirenkei/gakkoushien.html>

指導主事が「連携・協働」について学ぶ

「連携・協働」誰かとつながること？ 実は、自分自身とつながること！

横浜市教育委員会事務局の約160名の指導主事が、オンライン研修会に講師を招き学びました。

講師は横浜市教育委員の森祐美子氏。

演題は「なぜ、社会とつながる教育が必要なのか」でした。

そして小中学校企画課の池田孝指導主事からの小学校教員時代の取組紹介もあり実り多い時間となりました。

横浜教育ビジョン2030に掲げられている「自ら学び社会とつながり ともに未来を創る人」の育成のために今後も学校、地域、そして教育委員会事務局も一丸となって取り組んでまいりましょう。



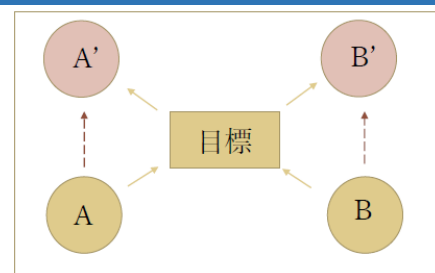
講師の森教育委員。終始にこやかにお話くださり、指導主事へたくさんのお気づきをくださいました。



池田指導主事。育成したい子どもの姿の実現に向けた、地域ケアプラザとの連携・協働活動を通じた実践が紹介されました。

以下、受講者の感想です。

- ・たどり着く目的が違って、共通の目標を実現することでそれぞれの目的を実現するという考え方に会えた。
- ・各々のしたいことは“違う”という認識のもとに共有の目標をつくるというイメージがもてた。
- ・協働とは「思いへの伴走」という言葉が素敵。
- ・協働は、自分と向き合うこと、そこにいる人の想いと向き合うことに意味があると気付いた。
- ・できる、できないという価値基準から、その人のもっているもの（当事者性）にフォーカスするという事に気付いた。



目的は違うのだが、同じ目標を達成することで、各目的を達成。

それぞれの「したいこと」が違う、という前提のもとに、「共有の目標をつくる」

コーディネーター養成講座オンライン開催

学校・地域コーディネーター養成講座の第5回目

(最終回)をオンラインで開催いたしました。

今回は、第4回目に各グループで考えた企画から良いと思ったものを発表したり、先輩コーディネーターから質問に答えていただいたりと、オンラインでも双方向のやり取りができる内容でした。

最後に「コーディネーターとしての私に贈るならば…」という題で漢字一文字を紙に書き、受講者の方々がそれぞれの想いを表現しました。

受講した方々は、養成講座を始めた年度当初は

不安が大きかったと思いますが、一年間で学んだことやつながりを生かし、楽しみながら「地域と学校の架け橋」として今後の活動を進めていただきたいと考えています。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。



楽 応 笑 明 輝

表現された一文字の漢字から、前向きに楽しみながら取り組もうといった気持ちが伝わってきました。

参加者の声

- ・実際にコーディネーターの方と生で話せる機会があり質問や疑問点を聞くことが出来たのは良かった。
- ・最初は不安の方が大きかったですが一年が終わって今はわくわくの方が大きいです。
- ・みんながハッピーになれる街づくりを小学校をベースに取り組んで行きたいです。とても有意義な時間でした。
- ・自分自身の幅が広がり、且つ今後の活動の方向性が定まりました。自分が抱く志を忘れず子どもたちの笑顔と共に楽しんで行きます！
- ・様々なプログラムのおかげで、学校・地域コーディネーターとして、こういった活動をしていけばいいかなんとかだがイメージができてよかった。

学校運営協議会 新規設置校 急増!!

年度末の大変お忙しい時期にかけて、学校運営協議会の設置に向けて様々なご準備ありがとうございました。

令和4年4月1日付の新規設置は、単独設置や合同設置を含めて新たに68校となり、設置校の合計は361校（約71%）となる予定です。

地域への説明、学校間での調整など多くの準備にご尽力いただき、感謝申し上げます。

学校運営協議会の設置がゴールではなく、各学校の子どもたちが「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」となることをゴールとして、教育委員会事務局もこれからも各学校の取組を最大限バックアップしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

学校運営協議会 設置校数 (令和4年4月1日 予定)

小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校	合計
248校	97校	3校	3校	10校	361校

左近山に新しい形の合同協議会 誕生!!

今回、新規設置される中で、左近山小学校、左近山中学校、左近山特別支援学校の3校が合同となって一つの学校協議会を立ち上げることになりました。

これまで小学校と中学校の合同設置や、中学校と高等学校の合同設置は複数の例がありましたが、特別支援学校が加わった合同設置は初めての例となります。

設置のねらいが、「共生社会の実現に向けた地域住民等との連携の促進」「ブロック内3校の相互の支援及び協力等の連携とそれに対する学校関係者評価の充実」等になっており、各学校がそこに通う児童生徒を地域社会全体で育てていくことをねらっています。

新たな形の学校運営協議会が、左近山で学び育っていく子どもたちや学校、地域全体にとって有意義なものになるよう、教育委員会事務局も引き続き支援をしてまいります。



左近山小学校



左近山中学校



左近山特別支援学校

令和4年度は目標達成の最終年度

学校運営協議会の設置、学校・地域コーディネーターの配置は令和4年度中に市立学校全校で完了することを目標としております。まだお済みでない学校には引き続き支援を行いますので、ご不明点やお困りのことがございましたら、いつでもご連絡ください。

学校運営協議会の設置の機会はあと2回

	学校運営協議会 設置の機会	
設置日	令和4年7月1日	令和4年10月1日
申請書提出の締切日	5月の連休明け	令和4年8月1日

設置校であっても、次の2点にご注意ください

- ・現在、単独設置の学校運営協議会を、複数校による合同協議会に切り替える場合
- ①新たに設置申請書と委員名簿を提出していただく必要があります。
 - ②合同で立ち上げるまでの間、単独での学校運営協議会の設置校であり続けます。

学校・地域コーディネーターの配置機会は、あと1回!

学校運営協議会と同様に、地域と学校を繋ぎ、総合調整を行う「学校・地域コーディネーター」の配置も、令和4年度末までに全校設置を目指しています。

「学校・地域コーディネーター」は学校長の推薦が必要で、学校長の推薦を受けた方に、年間5回の「学校・地域コーディネーター養成講座」を受講していただいています。

推薦は、令和4年4月中旬より開始予定です。

詳しくは、4月中旬に学校便利帳で発出予定の文書をご覧ください。

何かお困りなことがありましたら、いつでもご相談ください。
学校支援・地域連携課 671-3278